

吉田 知之 (Tomoyuki Yoshida)

[原著]

1. Hayashi, T., Yoshida, T., Ra, M., Taguchi, R. and Mishina, M. (2013). IL1RAPL1 associated with mental retardation and autism regulates the formation and stabilization of glutamatergic synapses of cortical neurons through RhoA signaling pathway. *PLoS One* 8(6):e66254. doi: 10.1371/journal.pone.0066254.

[著書・総説]

1. Mishina, M., Yoshida, T., Yasumura, M. and Uemura, T. Cortical Development. Kageyama R, Yamamori T, editors: Springer; 2013. Synapse Formation in the Brain; p229-247.

[国際学会]

該当なし

[国内学会]

1. 林崇, 吉田知之, 三品昌美 「精神疾患原因遺伝子 IL1RAPL1 による下流 RhoA シグナル系を介したグルタミン酸作動性シナプス制御」 第 36 回日本神経科学大会 京都国際会議場 京都 2013.1.20.
2. 島田忠之, 吉田知之, 山形要人 「Neuritinは海馬顆粒細胞における神経活動依存的な軸索分枝の形成を誘導する」 第36回日本神経科学大会 京都国際会議場 京都 2013.1.20.
3. 安村美里, 吉田知之, 高雄啓三, 山崎真弥, 阿部学, 植村健, 宮川剛, 崎村建司, 三品昌美 「IL1RAPL1 欠損マウスの行動学的解析」 第 36 回日本神経科学大会 京都国際会議場 京都 2013.1.21.
4. 林修平, 伊藤智和, 邊見久, 田中亜由美, 吉田知之, 森寿, 吉村徹 「D-アスパラギン酸合成酵素とされる哺乳動物 GOT1L1 の酵素活性」 第 9 回 D-アミノ酸研究会学術講演会 関西大学千里山キャンパス 大阪 2013.9.5.

[招待講演・セミナー]

1. 吉田知之 「シナプスオーガナイザーによる中枢シナプス形成の調節」 富山大学 代償脳研究会セミナー 富山大学杉谷キャンパス 富山 2014.1.30.
2. 吉田知之 「シナプスオーガナイザーによる中枢シナプス形成の調節」 生体システム専攻 バイオサイエンスシンポジウム 東京工業大学すずかけ台キャンパス

ス 神奈川 2014.2.18.

[研究助成金]

平成 23-26 年度 科学技術振興機構戦略的創造研究推進事業・さがけ「中枢シナプスオーガナイザーによる標的認識と特異的シナプス形成の調節機構の解明」 課題番号 4145 研究代表者 吉田知之

平成 24-25 年度 日本学術振興会科学研究費補助金 挑戦的萌芽研究「脳神経回路網形成の新規モジュレーターとしてのインターロイキンの役割」 課題番号 24650194 研究代表者 吉田知之

平成 25-26 年度 文部科学省科学研究費助成金 新学術領域研究「シナプスオーガナイザーの機能破綻から神経発達障害の発症に至るシナプス病態の解明」 課題番号 25110708 研究代表者 吉田知之

平成 25-28 年度 日本学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(B)「シナプス前終末構築の分子機構」 課題番号 25293057 研究代表者 吉田知之

[その他]

新聞・マスコミ発表

該当なし

特許出願・取得状況

該当なし